



玉川村立玉川中学校だより

玉中魂



第 11 号

令和 6 年 1 月 30 日発行

発行者 校長 板橋 敬史

☆ 3 学期もよろしくお願ひします

1 月 9 日（火）から第 3 学期が始まりました。

保護者のみなさん、3 学期も、そして今年も、どうぞよろしくお願ひします。

3 学期は今年度のまとめの学期であり、次の学年につながる大事な期間となります。特に 3 年生にとっては「受験」という大きな挑戦と「卒業」という節目が控えています。すべての 3 年生が笑顔で巣立っていけるよう、教職員全員でサポートをしていきたいと思ひます。

2 年生と 1 年生にとっても重要であることは同じです。4 月から学校のリーダーとなる 2 年生は、その基礎をしっかりと固める期間となります。自分の立場を認識し、やるべきことやできることを考えながら、最高学年への備えをしてほしいと思ひます。1 年生は、中堅学年の 2 年生になりますので、3 年生を支えながら 1 年生を助ける立場となれるよう、学習習慣と生活習慣を確立してほしいと思ひます。



9 日に行われた始業式では、子どもたちに次のようなことを伝えました。

- 3 学期は、他の学期に比べて登校日が少ないので、やらなければならないこと、やっておきたいこと、やっておいた方がよいことなどを具体的に決め、計画的に取り組んでほしい。
- 今の学年の学習内容をしっかりと身につけることが次の学習や活動につながるので、「学習」に一番力を入れてほしい。
- 3 年生にとって、3 学期は進路実現の期間となるので、目標達成に向けて努力してきたことをしっかりと発揮し、全員が笑顔で玉川中学校を巣立ってほしい。
- 2 年生にとっての 3 学期は、最高学年になる準備の期間なので、4 月から全員がリーダーシップをとれるように意識しながら行動してほしい。
- 1 年生のみなさんは、学校を支える 2 年生になるために、中学校の学習や生活の習慣を確実に身に付け、さらに積極性を伸ばしてほしい。

☆ 健康第一

これまで意識してきた新型コロナウイルス感染症に加え、今年は、インフルエンザへの対応も必要です。県内でも新型コロナとインフルエンザへの感染が増加してきたとの情報が聞かれますので、学校では、引き続き感染症の予防対策を続けていきます。ご家庭におきましても、子どもたちの健康管理に対するご協力をお願ひします。

<学校では…>

- 朝の健康観察
- 教室等の換気
- こまめな手洗い、消毒のよびかけ
- 必要に応じてマスク着用のよびかけ

<家庭の協力をお願ひします>

- 日々の体調管理
- 十分な栄養摂取
- 睡眠時間の確保
- 体調が悪いときには無理に登校させない

☆想いよ届け

1月1日(月)に発生した能登半島地震では、最大震度7を記録した強い揺れとともに、5mを越えたと予想される津波も観測され、多くの方が被害に遭われました。あらためて、地震でお亡くなりになった方々にお悔やみを申し上げます。また、被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。

今回の地震については、第3学期始業式の式辞でもふれ、「東日本大震災のときに能登地方の被害と同じような光景が見られた」「災害はいつどこで起こるか分からないので、日頃の備えが大事である」「災害で苦しんでいる方々に想いを寄せてほしい」というようなことを伝えました。

子どもたちは中学生なので、被災した方々を想うだけでも充分なのですが、3年生の生徒と生徒会から募金活動をしたいという申し出がありました。自分たちにできることは何かを考えた結果、募金活動を選んだのだそうです。活動している生徒と協力している生徒に感謝します。

なお、今回の募金活動で集まったお金は、関係機関を通して石川県に届ける予定です。早く子どもたちの想いが届き、復興の一助となることを願います。



☆頑張れ3年生!

12月から3年生の受験が始まっています。1月に入ってから、毎週のように私立高校の受験が行われ、順次結果も届いています。2月になると県立高校の出願も始まり、3月に行われる入試に向けた準備が本格化します。

学校では、すべての子どもたちの進路実現に向け、日々の学習指導や生活指導に力を入れています。また、出願書類作成の指導や面接指導なども丁寧に行っています。

これからも受験に向かう生徒を精一杯支援し、全員が笑顔で卒業できるように力を尽くしていきます。

頑張れ3年生!



〈学校司書の先生が作ってくださった御守〉

☆よき伝統

1月7日(日)に、玉川村の成人式「二十歳を祝う会」に参加してきました。約50人の若者と運営する村当局、来賓が参加し、厳粛な雰囲気の中で式典が行われました。

感心したのが、若者たちの参加態度です。落ち着いて式に参加し、名前が呼ばれたときにははっきりと返事をして立ち、代表者が証書や記念品を受け取る時には代表者に合わせて礼をし、村長さんや村議会議長さんがあいさつをしているときには黙って話を聞いていたのです。普段わたしが目にしている玉川中学校の式典のような姿が見られたのです。これは、玉川村の学校教育と家庭教育の成果です。このよき伝統を引き継ぐ子どもたちを育てたいと思います。